

県議選の争点と日本共産党の議席のかけがえのない役割

— 1・8 学習決起集会での報告 —

日本共産党県議会議員 齊藤 信

みなさんあけましておめでとうございます。4年前も同じ時期に一斉地方選挙勝利を目指す学習決起集会をやっております。私は元旦に神戸市議会議員と元旦の恒例の宣伝をやりました、そのあと神戸事務所で新年の集いをやって、甘酒を飲み、お汁粉を食べ、入党

作業までやりました。2日からは地元町内を回りまして、この間600軒訪問して26人の後援会ニュースの会員を増やしました。県庁12階、合庁8階の職員約2000人に挨拶をして、5日の5時40分からの中央卸売市場の初市式では、庄子市議と100人の方々に直接チラシを渡しながらやってきたところでございます。スタートダッシュでこの新年、必勝目指してがんばっているところであります。

はじめに

県議選の争点と日本共産党の議席のかけがえのない役割、来るべき県議選、そしてこれは市議選の争点にもなるわけですが、何が問われ、どう改革をすればよいのか、この間政策活動を発展させてきましたので、そのことも紹介しながら話をしたいと思います。

(1) 国政の熱い焦点が地方での政党選択にも大きな影響を与えるたたかいはじめに

はじめにのところで、志位委員長の党旗開きでの挨拶が大変に重要なので、志位委員長

の党旗開きの挨拶で、特に新たに解明されたものをしっかりとつかむことが大事です。ひとつは国政の熱い焦点が、地方での政党選択に大きな影響を与えるたたかいはじめに、

(2) 深い閉塞感のもとで、国民の真剣な模索が始まる——打開の展望を語る特別の重要性

二つ目に志位委員長は、党旗開きの挨拶で、深い閉塞感の下で、国民の真剣な模索が始まり、だからこそ打開の展望を語ることは特別に重要だ。このように強調をいたしました。年末年始の新聞、ニュースを見てみると、閉塞感がどこでも漂っています。それはなぜかという点、民主党が国民の期待を裏切り、いまや民主党への幻滅が怒りに変わっているからです。そしてこれは単純に自民党に戻らない。どこに打開の展望があるのか、それを模索しているというのが今の国民的な状況であります。

志位さんが特に新しく強調した問題は「戦後半世紀以上続いた古い政治の枠組みが、いよいよ最終段階に入った」、いわば古い枠組みにしがみついていることが閉塞状況の根にあるわけです。しかしその古い枠組みは、まさに今も壊れそうになって最終段階に入っている。そこにこの閉塞状況を打開する展望を語る意義がある。別なところでこういう解明をしています。90年代自民党政権が行き詰ったときは、それでも政権につく力があつたら野党としての批判能力が問われた。しかし、今は違う。自民党もだめ、民主党もだめです。

共産党であっても共産党が政権をとったら、今日本の政治をどう変えるのか、そういう展望政策をもっているのか、今これが問われているというのが今の情勢の特徴であります。こういう視野にたつて、毎日毎日の国政の熱い焦点を私たちが語り広げる選挙にしなければならぬというのが、志位委員長の党旗開きの挨拶のポイントだと私は思っています。

(3) 国民との結びつきを広げ、国民のあらゆるたたかいに連帯してたたかう

そして三つ目に、国民との結びつきを広げ、国民とのあらゆるたたかいに連帯して戦う、今こうした戦いは国のあり方を問う戦いだ。雇用問題では、日本経済の最大の問題は、10年以上にわたって賃金が下がり続けている、先進資本主義国では唯一の国になっている。ここに最大の経済問題の根本があると解明をしております。いわば、大幅賃上げ、労働者の暮らしを守るといふことが、日本の経済危機打開という、日本のいわば仕組みを変えるたたかいだということでもあります。

社会保障の問題でも、高すぎる国保税、実はこの点でも大変大事な解明をしたわけでありませんが、今、民主党菅政権は、2003年の小泉構造改革路線、その公然たる継承者になつていっているという解明をしました。後期高齢者は、75歳以上別立てで、都道府県単位の国保への編入をする。これは新制度でもなんでもありません。後期高齢者医療制度の名前を変えて別の制度を作るだけなんです。そしてそれを突破口にして国保制度を変えようとしているんです。都道府県単位の国保にすれば、市町村が補助して、国保税引き下げもできなくなる。こういう意味であります。実はこの方針は、2003年の小泉構造改革で出された方針なんです。今社会保障は、

まさに削減路線をかえるのではなくて、小泉改革路線を自民党に変わって推進するところまで民主党の菅政権は変質をした。

TPPの問題も国のあり方を問う大問題です。そうした意味でこうしたたたかいはじめのなかで一斉地方選挙を勝利する、戦いが勝利の条件を広げる。昨日いわて労連春闘共闘旗開きにいきましたが、TPPの問題では、県内、生協連、農協中央会、県漁連など中心になつて、食農ネットも一緒になつて、1月31日に県民共闘会議を結成する。そういう幅広い共同を広げるといふ方向が今準備をされているところでもあります。

(4) いっせいで地方選挙勝利へ——三つの基本姿勢にたつて奮闘を

そして四つ目は、一斉地方選挙三つの基本姿勢にたつて奮闘することが非常に重要になつている。地区委員長が話をしましたので、これははじめにというのは前段であります。私たちの戦いの土台であり前提でありますからこれをしっかりと深くつかんで皆さんと一緒に戦いたいと思います。

一、住民アンケートに見る盛岡市民の実態と要求

県政政策の具体論に入りますが、第一の、私たちの政策活動の出発点は切実な市民の実態要求から出発することです。住民アンケートをやつた最大の理由は、この市民の切実な要求をつかむことでもあります。

今日は住民アンケートの結果がまとめられています。私たちはこれを元になぜ今市民がこういう深刻な実態に置かれているのか、その原因と打開の方向を示す。このアンケートの結果はその土台であります。アンケートの

結果についても地区委員長が紹介をされましたので、私はそれを前提に、第二のところに入りたいと思います。

二、達増民主党県政のゆがみと福祉きりすて——なぜ県民の要求が実現しないのか

達増民主党県政の歪みと、福祉切捨て、なぜ県民の要求は実現しないのか。この点でこの問題に答えたのが1月新もりおか号外です。志位委員長が全国遊説で茨城や宮城県政の解明をしました。その志位委員長の解明を参考にしながら岩手県政のゆがみはどこにあるのか、どこに集約されているのか、そしてその結果、どういう事態になっているのかを解明したのがこのチラシであります。

(1) 大型開発優先で借金財政全国ワースト2位

一言で言いますと大型開発優先、その無駄な大型開発をオール与党で進めて岩手県政は実は借金財政全国ワースト2位であります。今、岩手県の借金残高は1兆5000億円です。岩手県の人口は133万人です。一人当たり112万円、岩手県の皆さんに借金をしている。4人家族だったら448万円、借金をしている。全国最悪の借金財政になってしまった。

この借金財政を作った大型開発を列挙しました。530億円の築川ダム、164億円の津付ダム、岩手の特徴は川を見ればダムを作る。治水だからではないんです。盛岡で最後に残ったのは築川です。だから今築川が問われているんです。ダムの理由は後からついてくるんです。

花巻空港整備事業321億円投入しました。

実は花巻空港整備事業の目的は、花巻空港からジャンボ機でアメリカ西海岸へ飛ばすというのが目的だったんです。だから平行誘導路を作ったんです。今飛んでいる飛行機は60人乗り、70人乗りです。この空港整備事業は国の補助事業にならなかつたんです。だからこれは県単独で、ほとんどは県民の税金でやっただんです。当時52万人の利用客が今は35万人です。飛行機も飛ばない。利用者も20万人減ったのに321億円はほとんど県民の税金が使われたというのが実態です。ある旅行会社の関係者に聞きました。「60人乗り、70人乗りでは予約が取れない、ツアーが組めない」、だからこの旅行会社は、今仙台空港を使うか新幹線を使うしかない、なさない空港になつてしまったといひます。その花巻空港に321億円使ったんです。

そして最後の致命傷は競馬でした。4年前330億円、なけなしの金を投入したんです。4年前も財政危機ですから、財政危機でなしの金を使ったら本当に金がなくなるんです。だから県の幹部職員がいつているんです。あの330億円は痛かった。もうどこいつても金がない、金がない。無駄な大型開発と競馬で岩手県は全国ワースト借金財政になった。

■「天の声」による利権政治

なんで無駄な大型開発が行われるかというのと小沢一郎の政治と金の利権政治があるからなんです。築川ダムのトンネル工事も天の声でした。県立福岡病院も天の声でした。大船渡に作った鷹生ダムも清水建設がとつた。これは小沢一郎じきじきの天の声でした。天の声でとるとどうなるかという、ゼネコンが年間2000万円の献金をするんです。ヤミ献金です。

なぜ小沢一郎が4億円をポンと出せるか、

ヤミのお金があるからです。表の金だったら銀行に預けるんです。4億円でだいたい500万円の利子がつくんです。みなさんだったら必ず銀行に預金するでしょ。預金できないんです。銀行に預けたら足がつかんんです。ヤミ献金というのはそういうものなんです。4億円どころではなくあるんです。胆沢ダムの下請けの水谷建設は1億円献金してるんです。最近私はいくつか話を聞きました。盛岡市立病院は大林組がとつた。小沢が仕切ったんです。小沢事務所にお願ひに行かなかつたら下請けにも入れなかつた。この業者はこの後献金しなくなつた。お礼しなかつたら干されたということでした。こんなもんなんです。だから無駄な大型開発も背景には小沢一郎の政治と金、利権政治があるということです。

■築川ダム 三つのごまかし

無駄な大型開発のところをひとつ補足しておきたいのは、築川ダムの問題。実は築川ダムの問題は、全国的な焦点になっていひます。岩手県が真つ先に、国のダム見直し事業で再検証して、やっぱりダムが安いといひたんです。これがNHKで全国放送されました。全国の人を知っているんです。本当かと私のところにもたくさんお問い合わせがありました。本当に築川はダムのほうが安いのか。しかしそれはまかつたのごまかしだ。

ここに三つのごまかしといひのを書きましてください。

ひとつのごまかしは、国の検証基準がまかつたのごまかしなんです。どうやって検証するか。残事業費で、だいたいのコストを比較するんです。築川ダムは今、53%、280億使っています。残事業費250億円です。その内の治水分が160億円で、ますますちい

さくして、河川改修の事業と比較するんです。だいたいダム事業が進んでいたら、絶対ダム事業の方がいいとなるんです。国の見直し基準がこういひごまかしになっている、だからあの八ツ場ダムも中止をいひなくなつた。本来、見直しといひのは、築川に必要な治水対策は何かといひ、これが大事です。残事業費のコストではなくて。築川に必要な治水対策は何かといひ本道に戻さなければならぬ。

第二のごまかしは、実はこのごまかしで県は安心したんでしよう。宅地かさ上げと河川改修事業費で332億円だと県はいつたんです。これは重大です。最初からそういつたら530億円より200億円安い。最初からこういひ試算をしていたらダムはなかつた。200億円も安い。私達は332億どころか100億もかからないといひたんです。いまさら332億円だなんてとんでもない。

三つ目のごまかしは、あの貴重な豊かな自然環境破壊と宝の川を破壊してしまひ。そういう問題がまともに検証されていひない。宝の川、自然環境は市民の財産です。この財産を破壊してまでダムを作つていいのかといひのも大事な検証基準なんです。そういうことでもNHKの放送に惑わされないうに。世論調査、市民アンケートでは、賛成は6・7%くらいいひかない。8割はダム反対です。この底流の世論を、大きく強くいひくことが大事だと思つていひます。

(2) 民生費は全国39位——福祉が犠牲に

そしてそのしわ寄せは実は福祉なんです。岩手県の民生費、民生費といひのは老人福祉、児童福祉です。お年寄り、子どもの福祉予算は、全国39位です。全国最低ランクです。だから国保が高い、特養ホームが5900人待ち機しても解決しないう、となるわけです。

高過ぎて払えない国保税

どういう形で今度福祉の切捨てが今現れているのかというと、なんといつても一番切実なのは国保税です。盛岡市の国保税、平均課税所得が、90万8000円で、4人家族で15万9000円の国保税です。負担率は実に17・5%です。そのほかに病院にかかるときには医療費がかかる。介護保険を使えば利用料がかかる、家賃も食費もかかる。だから高すぎて払えないんです。

滞納すればどうなるか。保険証をとりあげると。実はそれだけにはとどまらないんです。保険証取り上げの最後には、財産の差し押さえです。この間県内全体では4824件、16億3360万円も滞納者の債権を差し押さえました。

盛岡の場合は178件、1億1943万円になります。保険証を取り上げて命を奪い、止めを刺すように財産まで差し押さえをするという、こういう冷たい県政、市政になっているというところをしっかりと見る必要がある。

特養ホーム待機者5974人

二つ目の問題は、特養ホームの待機者が5974人盛岡市は1040人ですが、一人当たりの介護サービス利用料は全国最低、全国47番目です。在宅サービスは利用料1割払わなければならない、払えないから全国最低なんです。限度額の46・8%しか使ってません。

県立病院無床化

三つ目の問題は、そういうなかで県立病院、沼宮内病院の無床化、5つの診療センターの無床化と、民間移管を強行した。本当に福祉に冷たい、福祉切捨ての県政だ。昨年の12月議会で県立沼宮内病院の廃止・無床化の条例案が出されましたが、反対したのは共産党の私だけでした。そこに借金財政のゆがみが現れているといことをよく見ていく必要がある。

これはオール与党で進めたということです。

(3) 地場産業に冷たい——農林漁業予算は10年間で半減以下

地場産業にも冷たい。農林漁業予算は10年間で1357億円から648億円に半分以下になりました。これで農林漁業を推進しろといっても無理な話です。中小企業の予算も5年間で52億から38億。これは、融資を除いてです。3割減らしました。県内の事業所数の99・8%、常用労働者の89%を占める中小企業の予算がたった38億円です。これでは中小企業は支えきれないです。ここにもしわ寄せがいつてると思います。

(4) 深刻な雇用・就職難——誘致大企業が雇用破壊の先頭

次に、深刻な雇用、就職難の問題ですが、一言でいうと、岩手県は誘致企業優先の県政、何かといえば、自動車、半導体。しかしリーマンショックで雇用破壊の先頭に立ったのは、誘致大企業なんです。この2年間で事業主都合の離職者、いわゆる解雇は6万6864人です。非正規の雇止め8610人のうち90%の7791人は自動車、半導体関係の誘致大企業です。非正規の首を切ったのは誘致大企業だったんです。だからこの誘致大企業に責任を果たせるといことは大切です。

新規の高卒内定状況は11月末で76・2%。これはかなり努力して改善されつつありますが、まだ未定者813人です。2年前と比べると高校生の求人半分です。だから選択の余地がなくなっているんです。今残っている813人は今までと違う厳しさがある。求人がない中で決める。大学は53・2%、短大は26・3%専門学校は49・8%、来年の短大の

ほうが、高校よりもっと厳しい。社会に出るときに、社会人の1年生が失業者だった。そんなことを絶対に許してはならないという深刻な状況になっている。

三、県政に「福祉の心」を取り戻す 五つの課題と政策、県議会の改革を

大きな3つ目に、それでは県政に打開と改革の方法はどこにあるのか。この号外の表を見てください。ここでは4つの政策にまとめておきます。

(1) 雇用・就職難打開と住宅リフォーム助成の実現で仕事増やす

まず第一に、雇用、就職支援と住宅リフォーム助成をし、仕事を増やす。これを第一に掲げようと思っています。

誘致企業に対して、雇用の責任を果たさせる。実は、工場閉鎖したソニー、400人退職しました。12月県議会で私は、どこまで再就職をやったか、8割まで再就職を実現しました。富士通は1130人、700人が退職をさせました。これはまだ5割ですが、再就職をさせた企業に対して再就職の責任を追及している県は岩手県だけです。関東自動車の期間工(六ヶ月雇用)を4年間で233人正社員に登用させました。

たった一人の共産党県議が労働者と一緒になつてがんばって県政を動かし、大企業を動かしているというのは画期的な成果であります。これをぜひ広げていきたいと思えます。

県内すべての地域でワンストップサービスを実現させましたが、これを定期的に開催させることが必要だと思っています。

なによりもこの地域で仕事を起こすためには住宅リフォーム助成が決定打であります。

チラシに効果抜群と書きました。宮古が全国の注目を受けています。20万円以上の住宅リフォームに、10万円が現金ですぐに振り込むんです。12月末で2636件、11億6472万円も工事が生まれた。6軒に1軒使ったというんです。宮古市の持ち家で6軒に1軒、すごい勢いです。毎日10軒申し込みがある。だから大工さんや畳屋さんも忙しくてカラオケにもいけない。うれしい悲鳴です。それでいままでも滞納した税金を払っているんです。

これを県レベルでやればどうなるか。秋田県は16億4000万円の補助で252億円の工事費、経済効果512億円。252億円といったら大規模事業、ダム事業も真つ青というレベルです。

盛岡市は5人の市議団の力で来年度から実施、これすごい実績です。岩手県もやったら秋田県のような一桁違った成果になる。あと一步のところまで追い詰めてきました。なんとしてもこの住宅リフォーム制度を県でも実現させた選挙にしたい。実現したら成果、実現しなかったら選挙の争点、どつちに転んでも大丈夫。こういう課題であります。

(2) 高すぎる国保税の引き下げ、特養ホームの増設

大きな二つ目の問題は、国保税引き下げ、特養ホームの増設です。この点でも実績のほうとあわせて紹介をしますと、国保の問題では、盛岡市議団がうんと奮闘をしました。市政が冷たいというのとあわせて、こういう改善を勝ち取ったというのをぜひ広げてください。高校生までは保険証は無条件で交付されるようになりました。医療の必要な人にも保

険証は交付されるのです。だから資格証の人
も病院にかかれないのではなく、病院にかか
れるときは、市役所にいけば必ず保険証は出
ます。ここまで改善をさせてきました。

それ以上に盛岡市は、さつき庄子議員団長
がいったように低所得者の人にも出す、とい
うところまで盛岡市は到達。ですから、もう
ここまできたら資格証、短期保険証を発行す
る意味がなくなつたんです。こんなのは早く
やめなさい。いう政策であります。

特別養護老人ホームの問題は、実は第4期
計画は全県で、660床の計画だったんです。
5500人待機者がいるというときに、66
0床しか計画しない、それではおかしいの
はないかというので、実は来年度は1005
床整備する。660床から1240床整備に
計画を見直させました。これも日本共産党の
奮闘の成果であります。まだまだ待機者解消
には不十分ですが、そういう成果を挙げてお
ります。

(3) 子どもの医療費小学校卒業まで無料化、 35人学級の拡充

三つ目の問題は、子どもの医療費無料化の
拡充、35人学級の拡充ですが、実はさつき庄
子市議団長が言った、子どもの医療費の償還
払い、本当の根っこは民主党政権にあるん
です。現物給付にしたらペナルティ、自民政
権がやったことを今も引き継いでいるん
です。そのペナルティの額は岩手県で9億円
なんです。これが怖いというので償還払いに
しているのが岩手県なんです。だからとい
つて認めるわけではないが、しかし本
当の根っこは民主党なんです。国が
いいことをやったらペナルティ、自
民党のやったことにしがみついている
ところ根っこがある。しかし全国32
の都道府県が現物給付なんです。過半
数が現物

給付です。そのことも私たちは打開していか
なければならぬと思っています。

35人学級は小学校1、2年、中学校1年生
まで拡充をさせました。国の制度としてつ
いに小学校1年生ですが、国の制度として実
施されますから、これを必ず3年生、4年生に
拡充をさせる。実は小学校3年、4年とい
うのは9歳の壁といわれるんです。子ども
の力の差が出てくるのが、3年生、4年生
なんです。ぐっと成長する時期なんです。こ
のときに今まで20人くらいの学級だった
のが、急に40人の学級になる。そこで荒
れるんです。だからこの3年生4年生に少
人数学級を拡充するというのは本当に切
実な課題です。

(4) TPP断固阻止し農業の建て直しを

4番目のTPP断固反対、農業立てなおし
このデータはぜひ覚えて広げてください。岩
手県がまじめに試算をしました。岩手県で
TPPを受けたら1469億円、農業生産が
減少するといふんです。岩手県の農業生産
は2400億円です。そのうち6割、農業
壊滅です。米は95%、水田つぶれる。小
麦は100%なくなる。転作もできない。牛
肉は61%減少する、乳牛は100%です。
北海道の乳牛しか残らない。だったら水田
でなにをつくるんですか。作るものがない
ではないですか。酪農は100%だめです。
畜産も4割しか残らなかつたら、岩手県
の農業は壊滅です。そして、実は製造業
の中で岩手県の第1位は食産業なんです。
3500億円、自動車よりも電気よりも多
いんです。岩手県の農畜産物を材料にし
た食産業が、農業がつぶれたらだめです。

そういう意味でも地域経済を壊すとい
うのがTPP。達増知事、国会議員はなん
と言っているか。「時間をかけて、慎重に
議論をし

てほしい」。こんなものではだめなんです。
断固反対するべきなんです。私たちは農協
と懇談したときに、民主党のニュアンス
は違っています。時間をかけて慎重にや
つて参加しますといつたらだめですよ。
だから民主党と県民との間には、本
当に深い溝があります。

私はこんな裏切りはないと思います。
民主党の1票はTPP、農業地域経済をつ
ぶす1票だ。自民党だつてはつきりとい
えない。これは本当に大事な課題です。
大きな争点にしていく必要があると考
えています。

(5) 県民の声が届く県議会に

そして新しく政策を發展させたのが、議
会改革の提案であります。住民の議
会に対する目がかかり厳しいものがあ
ります。本場に皆さんの声が届く
県議会、市議会、それに答える
提案が求められています。このこと
を改めて提起をしました。

海外視察中止

第一は、県議の海外視察の無駄は
やめるべき。自民党と政和社民クラブ
は、この間10人、約900万使
つて無駄な豪華海外視察をや
りました。一人当たり90万円
です。民主党は4年前、海外視
察中止を約束したんです。し
かし中止をしなかつた。民主
党は海外視察に行かなかつた
が、自民党と政和社民がいつ
た。政和社民というのは今の
地域政党いわてです。あの
人たちが無駄な海外視察を
やっていた。後で実名を公表
します。これはリアルに無駄
使いをやっている県議に県
政を変えられるのか、これ
はわかりやすい問題だと思
います。

政務調査費の厳正な支出と改革

政務調査費、これは盛岡地裁で440万
円違法だと、だいたい小沢一
郎の後援会、ケヤキの会の会
費まで調査費から払っている

す。とんでもない話です。新年会、祝賀会、
飲食費に使ってはならないというのが政
務調査費のきまりなのに堂々と使つて
います。みんなのはただちにやめさせ
る。

市民の声が届く議会の活性化

そして市民の声が届く議会とい
うのは、県議会は年に1回しか一般
質問ができない。規制をされて
いるのです。それでも私は本
会議で議案に対する質疑とか
討論で、4年間で79回討論に
立っております。あらゆる機
会を使つてやっておりますが、
しかし一般質問というのは
なんでも取り上げられる。
こういう規制があつていい
のか。

議員報酬を市民目線で検討

4つ目には県議の報酬が高い
のではない。70数万円もら
つています。しかし引かれる
のも大きいんです。所得税、
国保税、手元に残るのは些
細なものです。しかし私は
今回2割削減も必要では
ないかと提案をしたいと思います。
県長の部級です。県の部長
級くらいではないか。そ
して定員削減ではなく、議
会の機能を發揮させるよ
うな県議会を作つてい
こうというのが、この提
案であります。

県議会における役割、(レ
ジメの)4「オール与
党県政のなかで県民要求
で県政を動かすかけが
のない日本共産党の議
席」のところは一緒に話
しましたので、こうした
県政の争点と、日本共
産党たった一人ですが、
必ずこの盛岡で現職の
議席を守り、奥州、一
関で必ずとつて県政を
大きく変える。そして
5人の市議団を絶対勝
ち取る選挙にしたい
という決意を述べて
私の報告にしたいと思
います。